

柿木図書館及び周辺施設の 更新等に関する検討（第3回）

～区立施設マネジメント計画に基づくワークショップ～



令和8年1月24日（土）
杉並区企画課
施設マネジメント担当

本ワークショップの進め方（予定）

ワークショップのゴール

対象施設の課題等を整理し、複数の更新方法(たたき台)を作成する

第1回

(令和7年
8月31日)

対象施設を知ろう！

- ・対象施設を見学し、対象施設の残したい良さや改善したい点などを各グループで共有しましょう

第2回

(令和7年
11月1日)

課題解決に向けた方策を考えよう！

- ・グループごとに対象施設の良かった点や課題を整理し、課題解決に向けてどのような方策が考えられるのか、アイデアを出し合いましょう

第3回

(令和8年
1月24日)

更新方法（たたき台）について検討しよう！

- ・区が作成した複数の更新方法（たたき台）について、良い点や気になった点などをグループごとに話し合いましょう

第4回

(令和8年
3月28日)

検討を深め、更新方法（たたき台）を比較してみよう！

- ・それぞれの更新方法（たたき台）についてさらに話し合うとともに、メリットやデメリットを比較しましょう

第3回のゴール・プログラム


第3回のゴール

更新方法（たたき台）について検討しよう！

1. 区からの説明① (9:30~9:50)
 - 第2回の振り返り
 - 第2回でいただいた主な質問等への回答
 - 施設見学会（令和7年12月21日）の振り返り
 - 第3回の進め方
 - “取組への期待”の再整理
 - “取組への期待”を達成できているかを確認するための視点
2. “もやもや”解消タイム (9:50~10:05)
 - 区からの説明①に関する“もやもや”を解消しよう

～休憩（10分）～
3. 区からの説明② (10:15~10:35)
 - これまでのご意見等を踏まえて作成した更新方法（たたき台）
4. グループワーク (10:35~11:35)
 - 更新方法（たたき台）について検討しよう！

～休憩（10分）～
5. 全体共有 (11:45~12:10)
6. 連絡事項 (12:10~12:15)

A cluster of various geometric shapes including squares, circles, and semi-circles in shades of purple, blue, and yellow, arranged in a pattern that tapers towards the top-left corner.

区からの説明①

第2回の振り返り

テーマ

課題解決に向けた取組を考えよう

STEP 1

区からの情報提供

～区が整理した“取組への期待”の説明～

第1回のご意見や施設利用者等のご意見、区が考える課題等を踏まえて、“取組への期待”を整理しました。

“取組への期待”

- ① 誰にとっても使いやすい
- ② 地域の人々が集い、交流が生まれる
- ③ 周辺環境との調和
- ④ 落ち着いて過ごせる場所の創出
- ⑤ 安全・安心の確保
- ⑥ 子どもがのびのびと育つ
- ⑦ 高齢者の居場所の確保
- ⑧ 地域のシンボル性や歴史の継承
- ⑨ 土地・建物の有効活用
- ⑩ 将来世代の負担軽減

STEP 2

グループワーク①

～“取組への期待”を整理しよう～

“取組への期待”に追加したい項目等について意見交換しました。

主なご意見	関連する“取組への期待”
若者や子どものいない世帯はターゲットにされにくいので、「誰にとっても」や「地域の人々」といったことを考える場合は注意が必要。	①②
子ども限定ではなく、親子で過ごせる場所があると親子がのびのび育つ。“取組への期待”には「親」の要素も加えてほしい。	⑥
四宮区民集会所における町会の活動場所としての機能を維持するために、“取組への期待”に「地域活動の拠点の維持」を加えたい。	追加

STEP 3

グループワーク②

～“取組への期待”を達成するための具体的なアイデアを考えよう～

施設の配置や複合化のほか、どんな部屋や設備があったら良いかなどハード面に関することや、運営などソフト面に関するアイデアを出し合いました。

主なご意見	達成できる“取組への期待”	主なご意見	達成できる“取組への期待”
図書館には、本を読んだり勉強するだけでなく、イベントを行ったり交流できるスペースもあると良い。	②	区民集会所とゆうゆう館を一体化（集約）することで、広いフリースペースを確保できる。	①⑨
保育園には、ホールや園庭などのスペースを十分に確保できると良い。	⑥	コミュニティふらっとを整備する場合、井草地域区民センターと近すぎないほうが良い。	③
現在のゆうゆう館で見られる利用者や職員の親しい関係性を残すことが大事。	④⑦	集会所と図書館は役割が異なるので、併設は馴染まないと思う。	①④

第2回でいただいた主な質問等への回答

Q1 柿木図書館の建物は、地域のシンボルとなっている。改築ではなく改修して、現状の建物を維持することはできないのか。

A1 ○柿木図書館は、大規模改修をこれまでに一度も実施せずに築60年を迎えており、建物の老朽化が進んでいる状況です。このため、今後、大規模改修を実施したとしても、長期間にわたって建物を維持していくことは困難であり、現時点では改築を前提に更新方法を検討しています。

Q2 ゆうゆう館からコミュニティふらっとへの機能継承について、これまでの実績等はどうなっているのか。

A2 ○ゆうゆう館の機能継承を行ったコミュニティふらっとは、これまでに7施設あり、平均では約9割の高齢者団体がコミュニティふらっとに移行し、活動を継続しています。

○移行しなかった団体の理由としては、「距離が遠くなった」や「利用できる部屋が小さくなった」などの声がありました。

第2回でいただいた主な質問等への回答

Q3 ゆうゆう四宮館の利用者の意見をもう少し詳しく教えてほしい。

A3 ○ゆうゆう四宮館の利用者を対象とした令和7年9月30日開催の意見交換会（参加者数10名）及び令和7年9月30日～10月13日実施のアンケート（回答者数14名）での主な意見等は、以下のとおりです。

主な意見等 ※ワークショップで出ていなかった意見等を中心に記載しています。

残したい良さ

○雰囲気や居心地が良い

- ・ゆうゆう四宮館は、雰囲気が良く、家庭的な環境なので、気軽に入りやすい。
- ・自分の周りの利用者も60歳以上の方が中心なので、心が落ち着く。
- ・ゆうゆう館で身近な友達を作ることができるのが魅力。
- ・ゆうゆう館には、人のぬくもりを感じる良さがある。
- ・高齢者にとって憩いの場であり、楽しい時間を過ごせる場所である。
- ・コミュニティふらっとに変わってしまうと、ゆうゆう館の良い雰囲気が消えてしまうので、このままゆうゆう館として残してほしい。
- ・建て直すのであれば、集会所と一緒にして広くしつつ、ゆうゆう館はゆうゆう館として残してほしい。

○家から近く、通しやすい

- ・自分にとっては、家から近いところ。
- ・身近で通しやすいところ。

○地域の交流ができる

- ・地域の児童館や保育園との交流を企画してくれる。
- ・催し物（協働事業等）があることによって、地域の方々と親しめる。
- ・催し（協働事業等）に魅力的なものが多い。
- ・体操などに使えて、人々との交流もあり、とても良い場である。

改善したい点

○多世代が利用でき、交流できるようになると良い

- ・年代を問わず使えるような施設になれば良いと思う。
- ・ゆうゆう館の中に、園児や次世代の方と交流できるようなスペースが欲しい。
- ・若い世代も利用しやすい施設にしてほしい。
- ・高齢者の中には、家庭がない方もいるので、受け入れてくれるような施設があれば良いと思う。

○利用者が固定化している

- ・利用する人が固定化されてしまっている。
- ・10年、15年利用している人は楽しく集まりやすいが、新規で来館する人が入りにくいという話があった。
- ・男性の利用者が少ない。

施設見学会（令和7年12月21日）の振り返り

① 高円寺図書館

参加者数：15名

施設概要	令和7年4月、小学校跡地に移転改築した図書館で、コミュニティふらっととの複合施設
見学内容	施設見学後、運営事業者がコミュニティふらっとのイベント（多世代交流事業等）について説明
主な質疑	Q 図書館とコミュニティふらっとは、吹き抜けでつながっているが、コミュニティふらっとのイベント開催時に図書館の利用者から音がうるさいなどの苦情はないのか。 A イベント開催時には多くの人でにぎわい、図書館までイベントの音が届くこともあるが、事前に掲示物で周知を行っており、うるさいなどの苦情はない。
	Q コミュニティふらっとのイベントはどのように企画しているか。 A 運営事業者が企画するほか、地域の方が持ち込んでくるイベントをコーディネートしたりしている。 区民集会所で開催している地域区民センター協議会のお祭りや講座等については、コミュニティふらっとに移行したとしても、地域区民センター協議会がこれまでどおり開催することは可能である。



施設見学会（令和7年12月21日）の振り返り

② コミュニティふらっと本天沼

参加者数：15名

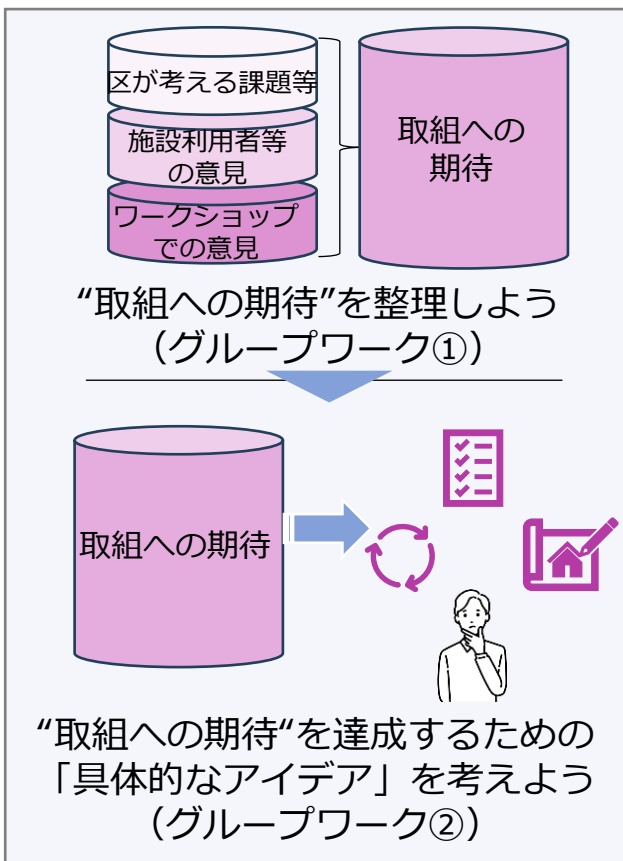
施設概要	令和6年10月、区民集会所を増築・改修して開設したコミュニティふらっとで、近隣にあったゆうゆう館の機能を継承
見学内容	施設見学後、運営事業者がコミュニティふらっと開設後の高齢者団体や多世代交流の様子について説明
主な質疑	Q ゆうゆう館と区民集会所が一つになったからと言って、本当に多世代交流は図られるのか。 A 多世代交流のイベントを開催するだけでは交流はあまり進まないが、世代の異なる人がラウンジなどの同じ空間を共用することで、自然と顔見知りになり、交流が生まれるなどの効果が出てきている。
	Q ゆうゆう館の機能をコミュニティふらっとに継承したとのことだが、高齢者団体の数や高齢者向けのイベントが減ったりしていないのか。 A ゆうゆう館の40あった高齢者団体のうち、38団体が継続して活動している。残り2団体は、もともと人数が集まっていなかったことから活動を止めたものである。高齢者向けのイベント数に変更はなく、それ以外の多世代向けのイベントが増えた結果、これまで高齢者中心だったイベントに若い世代も参加するなど、多くのイベントが盛り上がっている。



第3回の進め方

“取組への期待”を達成できているかを確認するための視点や、区が作成した更新方法（たたき台）等に関する説明を聞いた上で、更新方法（たたき台）の良い点や気になった点等をグループで意見交換します。

第2回



第3回

“取組への期待”	たたき台 1	たたき台 2	たたき台 3
(1) 多目的に利用ができて、地域の人々が集い、交流が生まれる			
(2) 地域のシンボル性や歴史の継承、周辺環境との調和			
(3)・・・			
(4)・・・			
(5)・・・			
(6)・・・			
(7)・・・			

区が整理した「“取組への期待”を達成できているかを確認するための視点」を見てみよう

案1 案2 案3

区が作成した更新方法（たたき台）について検討しよう！

第4回

“取組への期待”	たたき台 1	たたき台 2	たたき台 3
(1)・・・			
(2)・・・			
(3)・・・			
(4)・・・			
(5)・・・			
(6)・・・			
(7)・・・			

メリットやデメリットを記載

検討をさらに深めるとともに、“視点”に基づいて各更新方法（たたき台）のメリットやデメリットを比較しよう

“取組への期待”の再整理

第2回でのご意見等を踏まえて、“取組への期待”を7つに再整理しました。

“取組への期待”		再整理した“取組への期待”	主なご意見等
① <u>誰にとっても使いやすい</u> 気軽に使える バリアフリーが確保されている 子ども・子育て世代にとって使いやすい 高齢者にとって使いやすい アクセスしやすい		(2)へ (3)へ (4)へ (5)へ (6)へ 【他と統合】	<ul style="list-style-type: none"> ・使いやすさを考えるときは、誰＝対象者を明確に考える必要がある（高齢者、子どもたち、車いすの方、近所のママ、学生など） ・高齢者、子ども、男性、女性など対象を明確にする方が良いのではないかと
② <u>地域の人々が集い、交流が生まれる</u>		(1) <u>様々な用途で利用ができ、地域の人々が集い、交流が生まれる</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・集まりやすい場所づくりと、連携・交流できるスペースづくりが重要である。 ・読書や勉強だけではなく、イベントができるスペースが図書館にあると、地域の交流につながる。
③ <u>周辺環境との調和</u>			
④ <u>落ち着いて過ごせる場所の創出</u>		(2) <u>気軽に立ち寄れ、落ち着いて過ごせる</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・「落ち着いて」と併せて、誰もが気軽に利用しやすいオープンな環境が重要だ ・グループでなくても、個人で気軽に利用できるエリアがあると良い
⑤ <u>安全・安心の確保</u>		(3) <u>安全・安心の確保</u>	
⑥ <u>子どもがのびのびと育つ</u>		(4) <u>子どもがのびのびと育つ</u>	
⑦ <u>高齢者の居場所の確保</u>		(5) <u>高齢者の活動場所の確保</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の居場所といっても様々な視点があるので、具体的に考えるべき ・運動や趣味、催し物などの活動場所の確保の観点から修正
⑧ <u>地域のシンボル性や歴史の継承</u>		(6) <u>地域のシンボル性や歴史の継承、周辺環境との調和</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・各施設ともに、現在の場所にあることが地域のシンボル性や歴史の継承につながる ・各施設ともに、緑が多くて魅力的である。特に柿木図書館は緑が多いので残して欲しい
⑨ <u>土地・建物の有効活用</u>		(7) <u>土地・建物の有効活用</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・土地・建物の有効活用が、将来世代の負担軽減につながるから統合
⑩ <u>将来世代の負担軽減</u>			

“取組への期待”を達成できているかを確認するための視点

(1) 様々な用途で利用ができ、地域の人々が集い、交流が生まれる

【視点】

- ・ 集い、交流できるスペースや共有スペースがあるか
- ・ 集会施設に身体が動かせるなど、様々な使い方ができるスペースが確保されているか
- ・ 現在の地域活動を継続し、発展していくための場所が確保されているか
- ・ 改築期間中の休館期間は、最小限になっているか

(2) 気軽に立ち寄れ、落ち着いて過ごせる

【視点】

- ・ 一人や少人数でも気兼ねなく利用できるような空間となっているか
- ・ 周囲から目につく建物で、気軽に立ち寄れる場所になっているか

(3) 安全・安心の確保

【視点】

- ・ 高齢者や障害者など、身体に不自由がある方に対して安全性（バリアフリー）が確保されているか

(4) 子どもがのびのびと育つ

【視点】

- ・ 園庭など、十分な広さの保育スペースが確保できるか
- ・ 子どもや乳幼児親子が気兼ねなく利用できる施設となっているか

(5) 高齢者の活動場所の確保

【視点】

- ・ 高齢者にとって温かみを感じられ、敷居が低く使いやすい場所となっているか
- ・ 高齢者のこれまでの活動を継続できるような場所が確保されているか

(6) 地域のシンボル性や歴史の継承、周辺環境との調和

【視点】

- ・ 現在の施設配置や建物外観を生かしたものとなっているか
- ・ 近隣施設との配置バランスが取れていて、アクセスしやすい場所となっているか
- ・ 地域の祭りなど、歴史や文化を継承するものとなっているか
- ・ 緑に囲まれた施設環境が維持できるか

(7) 土地・建物の有効活用

【視点】

- ・ 整備・運営コストなど、財政負担を抑えたものとなっているか
- ・ 複数の施設の複合化やスペースの有効活用が図られているか
- ・ 利用状況等の将来的な変化に応じて、柔軟にスペースを変更できるか

第4回のワークショップでは、“視点”に基づいて各更新方法（たたき台）のメリットやデメリットを比較します。

“もやもや”解消タイム

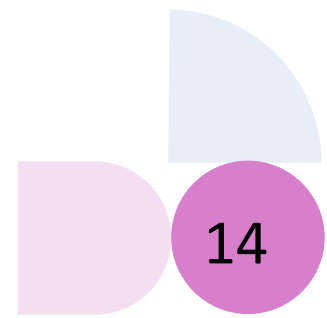
区からの説明①に関する“もやもや”を解消しよう

進め方

- ・ 区からの説明①を聞いて分からなかった点など、“もやもや”したことをグループで共有しましょう。
- ・ 時間が余った場合は、施設見学会に参加した感想などを共有しましょう。



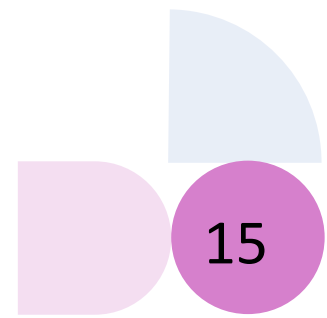
“もやもや”解消タイム (: まで)






休憩

(: まで)



A cluster of colorful geometric shapes including squares, circles, and semi-circles in shades of purple, blue, and yellow, arranged in a pattern in the top-left corner.

区からの説明②

これまでのご意見等を踏まえて作成した更新方法（たたき台）

これまでのワークショップでいただいたご意見等を踏まえて、3つの更新方法（たたき台）を作成しました。

たたき台1

築年数が比較的浅い区民集会所(築40年)を改築しない案

たたき台2

全ての対象施設(保育園・ゆうゆう館・区民集会所・図書館)を改築する案

たたき台3

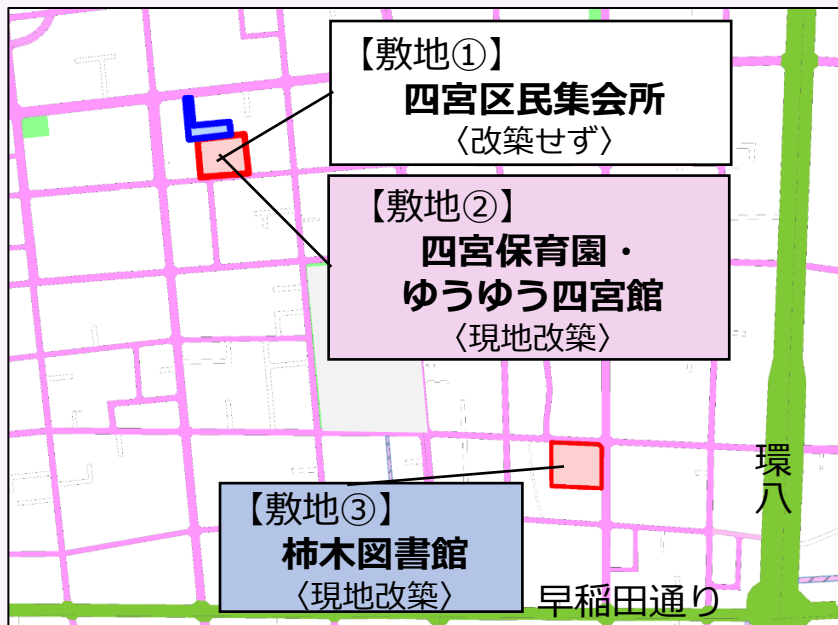
図書館と集会施設を合築する案

これまでのご意見等を踏まえて作成した更新方法（たたき台）

たたき台1

築年数が比較的浅い区民集会所(築40年)を改築しない案

【更新後の施設配置】



【たたき台の主なポイント】

- 施設の配置が現状と変わらず、利用者や近隣住民への影響が小さい。
- 高齢者が中心に利用する施設としてゆうゆう館を存置できる。
- 区民集会所の休館期間が生じない。
- 区民集会所を改築しないため、当面の改築費用を抑えることができる。
- 図書館の休館期間を3年程度に抑えることができる。(スライド23参照)
- ▲敷地①・②を一体的に活用できず、土地の有効活用を図りにくい。
- ▲ゆうゆう館を存置すると高齢者の利用が中心となり、夜間の稼働率が低いなど、施設の有効活用が図られにくい。
- ▲保育園の延床面積は現在の基準に合わせて増加するため、園庭面積が現状よりも小さくなる。
- ▲保育園の仮設園舎を建設する用地や費用が必要になる。

○ = メリット ▲ = 留意点等

【参考にした主なご意見】

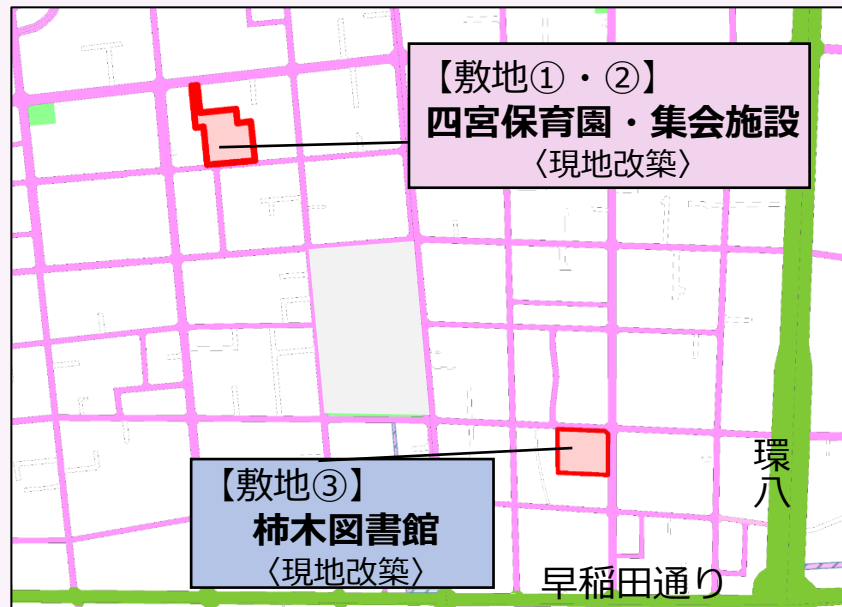
- 各施設の立地が良い環境にあるので、現在の場所で施設を更新してほしい。
- 全ての施設を現在の場所で更新することが、「地域のシンボル性や歴史の継承」の観点から大きな意味がある。
- 現在のゆうゆう四宮館の雰囲気は家庭的で、温かみがあることが魅力であり、今のまま改築してほしい。
- ゆうゆう四宮館は、高齢者にとって憩いの場であり、楽しい時間を過ごせる場所である。
- 休館期間中における代替の活動場所を考えておく必要がある。特に高齢者は環境が変わるなどして、一度活動が途切れると、その後続けることが難しくなる。

これまでのご意見等を踏まえて作成した更新方法（たたき台）

たたき台 2

全ての対象施設(保育園・ゆうゆう館・区民集会所・図書館)を改築する案

【更新後の施設配置】



【たたき台の主なポイント】

- 施設の配置が現状と大きく変わらず、利用者や近隣住民への影響が小さい。
- 敷地①・②を一体的に活用することで、土地の有効活用を図れる。
- 集会施設は、①ゆうゆう館と区民集会所又は②コミュニティふらっとを整備する案が考えられるが、仮にコミュニティふらっとを整備する場合、トイレなどを集約することで、現在の区民集会所よりもラウンジ等を広く確保できる。
- 新しい集会施設(区民集会所又はコミュニティふらっと)を整備することで、集会施設にダンスなどの軽運動が可能な多目的室を設けることができる。
- 図書館の休館期間を3年程度に抑えることができる。(スライド23参照)
- ▲ゆうゆう館と区民集会所の改築工事期間中(3年程度)は、周辺の施設を利用する必要がある。
- ▲保育園の延床面積は現在の基準に合わせて増加するため、園庭面積が現状よりも小さくなる。
- ▲保育園の仮設園舎を建設する用地や費用が必要になる。

○=メリット ▲=留意点等

【参考にした主なご意見】

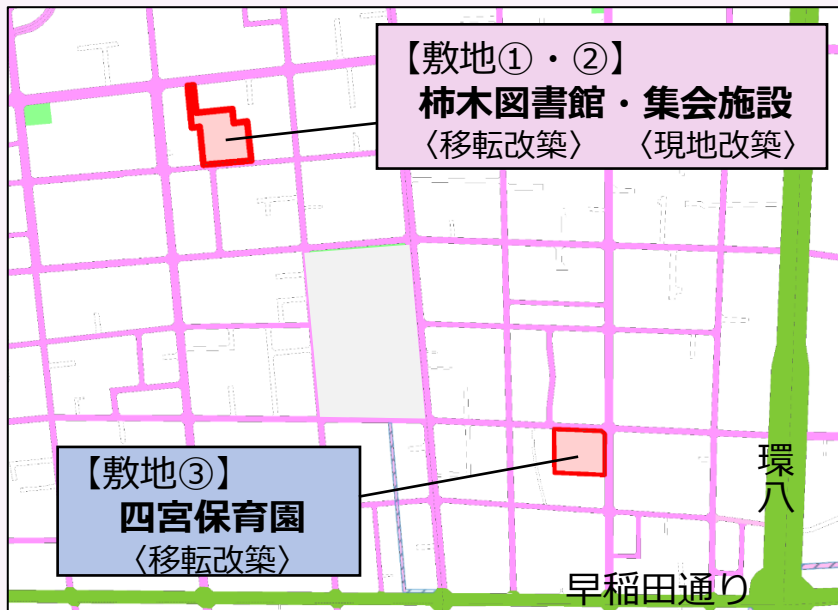
- 各施設の立地が良い環境にあるので、現在の場所で施設を更新してほしい。
- 集会施設を整備する場合、井草地域区民センターと近すぎないほうが良い。
- ゆうゆう四宮館と四宮区民集会所を集約することで、敷地を有効活用でき、広いフリースペースを設けることができるのではないかと。
- ゆうゆう四宮館と四宮区民集会所を集約する場合、建物内でエリアを分けつつ、入口やラウンジなどを共有することで、世代毎に集まることの安心感と世代を超えた交流を両立できるようになるのではないかと。
- ゆうゆう四宮館と四宮区民集会所は、良く利用されている時間帯が異なるため、両施設を複合化することで、施設の有効活用が図られるのではないかと。

これまでのご意見等を踏まえて作成した更新方法（たたき台）

たたき台3

図書館と集会施設を合築する案

【更新後の施設配置】



【たたき台の主なポイント】

- 敷地①・②を一体的に活用することで、土地の有効活用を図れる。
- 集会施設は、①ゆうゆう館と区民集会所又は②コミュニティふらっとを整備する案が考えられるが、仮にコミュニティふらっとを整備する場合、トイレなどを集約することで、現在の区民集会所よりもラウンジ等を広く確保できる。
- 新しい集会施設(区民集会所又はコミュニティふらっと)を整備することで、集会施設にダンスなどの軽運動が可能な多目的室を設けることができる。
- 敷地③では、面積が狭いため、開架部分（本棚等）の面積を維持したまま図書館と集会施設を合築することはできないが、敷地①・②では、図書館の開架部分の面積を現地改築の場合と同程度確保しながら、集会施設と合築できる。
- 保育園の延床面積が現在の基準に合わせて増加するものの、園庭面積を現状程度確保できる。
- 保育園の仮設園舎を建設する用地や費用が不要である。
- ▲保育園と図書館の場所が変わるため、利用者や近隣住民への影響が大きい。
- ▲ゆうゆう館と区民集会所の改築工事期間中(3年程度)は、周辺の施設を利用する必要がある。
- ▲図書館の休館期間が6年程度と長く、利用者への影響が大きい。

○=メリット ▲=留意点等

【参考にした主なご意見】

- 図書館に会議ができたり、おしゃべりができる場所があると良いので、図書館と集会施設を一体化してはどうか。
- 図書館に多目的室を設けて、地域の人が交流できる空間があると良い。
- 保育園には、ホールや園庭などのスペースを十分に確保できると良い。
- 集会施設を整備する場合、井草地域区民センターと近すぎないほうが良い。
- ゆうゆう四宮館と四宮区民集会所を集約することで、敷地を有効活用でき、広いフリースペースを設けることができるのではないかと。
- 保育園は、単独で大きく建てた方が安全面やセキュリティの観点から良いと思う。

その他、施設整備に向けて頂いた主な意見

○緑に囲まれた施設環境を残してほしい。

○高齢者や障害者など、身体に不自由がある方に対して安全性（バリアフリー）を確保してほしい。

○乳幼児親子が気兼ねなく利用できる施設にしてほしい。

○小中学生などが勉強できる場所を確保してほしい。

○高齢者のこれまでの活動が継続できるような場所を確保してほしい。

○道路の通行に支障が出ないように駐輪スペースを十分に確保してほしい。

○地域の祭りなど、歴史や文化を継承するものとしてほしい。

○地域区民センター協議会の活動を継続できるようにしてほしい。

○図書館の敷地内にある消防団の倉庫を存置してほしい。

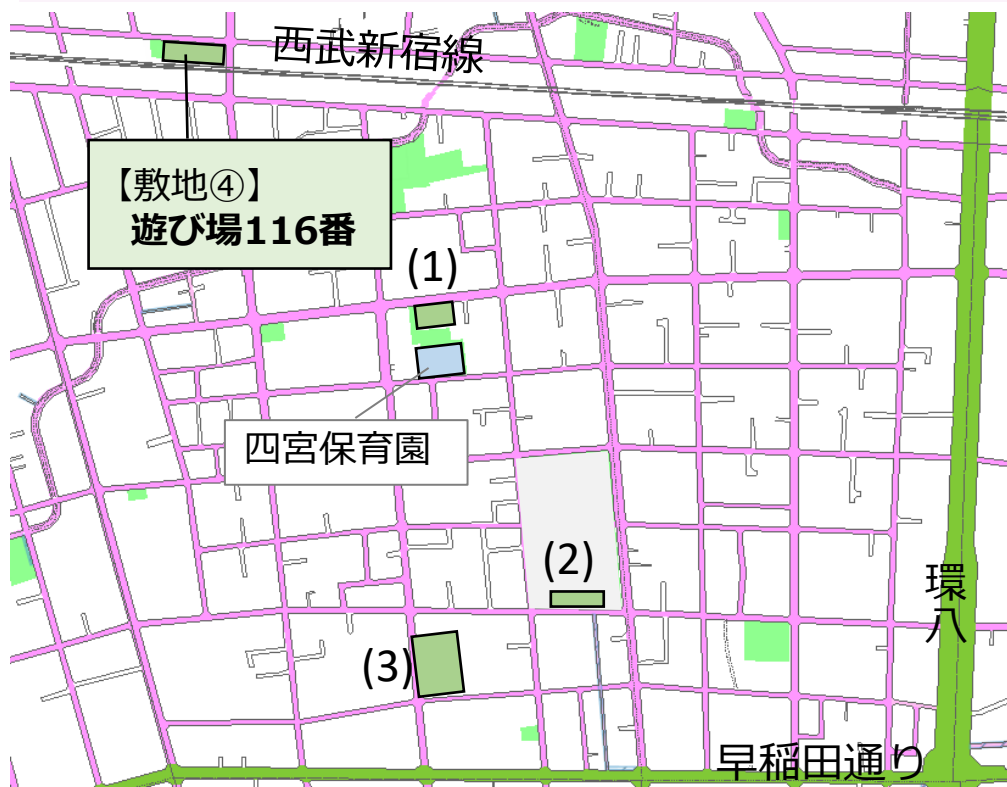
こうしたご意見については、いずれのたたき台であっても配慮していきます。

【参考】四宮保育園の仮設園舎用地に関する検討

保育園は、保護者の就労等により保育が必要な児童のための施設であり、休園ができません。たたき台1及び2の場合、仮設園舎が必要になることから、用地の検討を行ってきました。

【敷地④】遊び場116番（井草5-2）の一部を活用する案

- ・遊び場116番は、西武新宿線連続立体交差事業の一環で区が土地を取得し、暫定的に遊び場として整備しています。
- ・事業に支障がない範囲（鉄道や側道に使用しない部分）で仮設園舎を整備できないか検討中です。
- ・四宮保育園からの距離は約500mとなります。
- ・敷地内に園庭を確保できないため、近隣の公園等を代替場所とする予定です。



【これまでに検討した他の用地(一例)】

- (1) 四宮区民集会所の北側敷地(梅林)
民有地であり、活用が困難であることを確認
- (2) 四宮小学校の南側敷地
教育活動への影響や、樹木の伐採が必要であることを踏まえると活用は困難
- (3) 上井草二丁目の団体利用農園
農地としての利用を前提に区が借りているため、他用途への転用は困難

【参考】各たたき台における施設更新の流れ(案)

たたき台1	たたき台2	たたき台3
<p>【敷地④】 遊び場116番</p> <p>【敷地①】 四宮区民集会所 〈改築せず〉</p> <p>【敷地②】 保育園・ゆうゆう館 〈現地改築〉</p> <p>【敷地③】 図書館 〈現地改築〉</p>	<p>【敷地④】 遊び場116番</p> <p>【敷地①・②】 保育園・集会施設 〈現地改築〉</p> <p>【敷地③】 図書館 〈現地改築〉</p>	<p>【敷地①・②】 図書館・集会施設 〈移転改築/現地改築〉</p> <p>【敷地③】 保育園 〈移転改築〉</p>
<p>(1) 敷地③で図書館を現地改築</p> <p>(2) 敷地④に保育園の仮設園舎を建設 ※現在の園児に影響が出ないように令和13年度以降に仮設園舎を利用</p> <p>(3) 敷地②で保育園・ゆうゆう館を現地改築</p>	<p>(1) 敷地③で図書館を現地改築</p> <p>(2) 敷地④に保育園の仮設園舎を建設 ※現在の園児に影響が出ないように令和13年度以降に仮設園舎を利用</p> <p>(3) 敷地①・②で保育園・集会施設を現地改築</p>	<p>(1) 敷地③で図書館を解体し、保育園を移転改築</p> <p>(2) 敷地①・②で保育園・ゆうゆう館・区民集会所を解体し、図書館と集会施設を合築</p>
<p>〈敷地④が利用できない場合〉</p> <p>(1) 敷地③で図書館を解体し、保育園の仮設園舎を建設</p> <p>(2) 敷地②で保育園・ゆうゆう館を現地改築</p> <p>(3) 敷地③で保育園の仮設園舎を解体し、図書館を建設</p>	<p>〈敷地④が利用できない場合〉</p> <p>(1) 敷地③で図書館を解体し、保育園の仮設園舎を建設</p> <p>(2) 敷地①・②で保育園・集会施設を現地改築</p> <p>(3) 敷地③で保育園の仮設園舎を解体し、図書館を建設</p>	
<p>【休館期間】</p> <p>保育園：なし</p> <p>図書館：3年程度</p> <p>(敷地④が利用できない場合は7年程度)</p> <p>ゆうゆう館：3年程度</p> <p>区民集会所：なし(改築せず)</p>	<p>【休館期間】</p> <p>保育園：なし</p> <p>図書館：3年程度</p> <p>(敷地④が利用できない場合は7年程度)</p> <p>ゆうゆう館：3年程度</p> <p>区民集会所：3年程度</p>	<p>【休館期間】</p> <p>保育園：なし</p> <p>図書館：6年程度</p> <p>ゆうゆう館：3年程度</p> <p>区民集会所：3年程度</p>

■ グループワークに当たってのお願い

- (1) グループの全員が話せるように、意見はなるべく簡潔にまとめましょう
- (2) 積極的に話し合いへ参加し、自分の考えを率直に述べましょう
- (3) 気持ちよく運営できるよう協力しましょう
- (4) 自分とは異なる意見にも耳を傾けましょう



グループワーク



テーマ


更新方法（たたき台）について検討しよう！

各たたき台の良い点… 

各たたき台の気になった点… 

進め方


- それぞれの更新方法（たたき台）の良い点 、気になった点 を付せんに書きましょう。

- 
- 付せんに書いた内容を発表して、グループで意見交換しましょう。

グループワーク

模造紙のイメージ・付せんの書き方

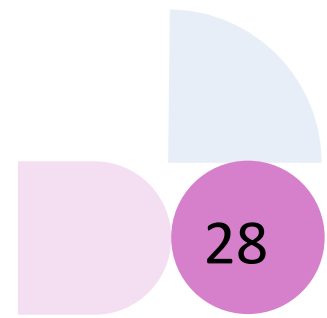
たたき台 1	たたき台 2	たたき台 3
<p data-bbox="214 386 446 615">改築工事期間中も集会室機能を維持できる点が良いと思った</p>	<p data-bbox="799 386 1031 615">多世代交流を図るためには、コミュニティふらっとを整備すると良いと思う</p>	<p data-bbox="1277 386 1508 615">保育園の園庭を広く確保できる点が良い</p> <p data-bbox="1483 644 1715 872">図書館の休館期間中は、近隣の図書館を利用することになるのか？</p>



グループワーク (: まで)



全体共有



■ 連絡事項

① 振り返りシート（アンケート）の提出

【Web】 2月1日（日）までにご入力ください

【紙】 この後、ご提出ください

② 次回のワークショップについて

【日時】 令和8年3月28日（土）

9時30分～12時30分（予定）

【会場】 井草地域区民センター 第1・2集会室

【内容】 更新方法（たたき台）に関する意見交換